Ħ

至

ヲ貫徹スル

ッ

ァ

デアル私

應

ジテ國ニ盡

為ニ盡

サネ

ナラヌ義務ガアル軍人ハ武ヲ以テ國

バナラヌノデアッテ 若シ

國民

デアリナガラ國ニ

盡スノ赤誠ナキ

モノハ非國

民デアル私い植

物

盡シ農民ハ農ヲ以テ國ニ

盡シ其他各種ノ國民皆各其分

=

ハ我日本帝國

ノー國民デアル以上國家

私

ハ平素植物學ニ我身ヲ委ネ之ヲ以テ我邦ニ殉セントスルモノデアル私

學ヲ我生命

ŀ

スル サネ الر

思

ヌ者が隨分多クアル

フ

植

第 卷 第一號

大正五年四月二十五日

〇吾人 覺 悟

本文へ昨年九月某誌ニテ發表セル論旨ノ一部ヲ故ラニ修補再錄セルモノナリ

野 富 太

郞

牧

サテ世間ニハ我身ノ利害バカリ考ヘテ表面デハ立派ナコトヲ言ッテ居ッラモ實際ハ國ニ對スル事 、モノ故之ヲ以テ國ニ盡シ國民タルノ面目ヲ全ウシタイト覺悟シテ居 iv ナド ۱ر 少シ

ハ今日

植

者ガ舉ッテ國ノ爲メ、換言スレバ「帝國ノ植物學」ノ爲ニ共同一致シテ事ニ當ルノ 覺悟ガアリタイモ

.ガ我植物學ノ方面ヨリハコンナ人ハ一人モ出シタクナイ其レ故平素私

テ居ル我帝國ハ何レノ事ニモ是非トモ少ナクモ東洋ノ中心ニナラネバナラヌノデ無論植物學モ亦其

ル迄ノ五十年 <u>_</u> ハ常っ ル事ハ我邦今日 便リト 此事ニ想到スル毎ニ今日ノ現狀ハ之ニ對シラ頗ル遺憾ニ ナ ル足場ヲ得ナイノヲ殊ノ外殘念ニ思フテ居 ۱ر 決 シ ノ植物學 テ短キ 間 モ矢張リ明治初年頃ノト同様 デ ナ 1 ガ此 間 植物學

ル此國家的ノ問題ニ就テハー

般ニ之ヲ等閑

越ズル

ノミナラズ 一面自分

ハ我微

意

= *S*

居ル ŀ

思

ノ狀態デアル

如ク感ゼ

ラレ ラ送リ

テ

ナラ

ナイ維新

後

果シテ之ヲ憂ヒテ日

ッ

ァ ŋ

平

吾 人 覺 悟

吾

A

覺

悟

(28)行 發 Ħ 四 4 Æ. Œ. 大 ガ 學 礎 ァ 唾 植 H w Æ = テ我帝 鮮 資 決 ラ 切 ŧ w v = 物 對 吾 壆 心ツ 確立 我 ナ 對 敎 テ ス **-**才 邦 = 育 jν ス w 憂國 識 大問 國 界 以 猫 w ガ ŀ ス 國 等 質 家 時局 徹 責任 論 テ べ 决 = = 努 慶 立 並 キ 1 シ ۸ر 底 題 及 草 士 不急 問 必 テ 'n デ ッ デ ŀ ガ = 也 退 質 ブ 汖 7 べ 題 ァ w ヲ 痛 所 デ + 行 見 上 全 方 7 ナ = jν アル 對 数長 ラ 科 逢 叉 デ ヲ 地 = ゥ 1 = 事 橫 デア 秋 我 ハ 3 ナ 着 = æ セ ---テ 大 若 立 努 デ ネ 面 ナ ŀ ス 邦 ス ハ 息 1 シ シ w ァ Æ · 12 ッ 力 吾 ŋ ۱۰ ٧,٧ , 天與 之 責任 無用 jν 植 ブ デ テ ス シ , λ ッ ıν 大 ガ ァ 研究室 ラ 物學 ハ我邦 1 7. ` 如 ヲ ラ ノ學 , ナ = ヶ ヌ 7 人 國デ # 輕 斯 ゥ 我 Æ-w 今日 決 時 茒 ン デ Ï デ ٧٠ 邦 ァ 學 朖 艏 新 宜 2) ァ Æ シ ナ æ 多 安逸ヲ テ無理 國 我邦 w Ť ラ放 ラ 物學 拘 ノ多キ爲 w ノ植 シ 振 國 ŀ 力 ガ ヌ ク 危ウ 內寒温熱 ラ 者ノ 物學 活眼 ラ 雷 作 ッ 1 貪 ラ様 デ 植 テ ン デ ズ シ 物學 廣 責任 ラ開 之 ィ n テ = ァ رر 場合 ŀ 第 近 有 ナ ナ 1 w = 酿 v 崩 ヲ私 者 我 對 ۱۷ 犭 不徹 テ 誠 期 ۸ر 者 デ デ 邦 シ 當 生ト 大局 流 テ ۱۷ Æ 此 ゝ = 現狀 植 底 ブタ 何 = ナ 切 此 ハ 1 之 如 ノ俗 物 1 望 シ 1 ヺ 達觀 根 進 v テ之レ ヲ w ス キ ヺ 如 飨 見渡 備 ガ 本 論 jν 間 ク重 3 悟 今 題 タ ネ ŀ ナ シ Æ 有 ヲ 速 v jν **F*** = 1 ガ セ セ 時 發 觸 べ 基礎ヲ定立 ズ ナ カラ吾人 シ ハ _NP 力 テ其 1 キ サ 揮 種 = = ゝ v 漫 世 智 ッ Œ 我 テ 乜 4 サ 品品 考 邦 然之ヲ ス = 識 = シ 1 沂 ŀ 是 慮 ノス為 ベ メ例 時 種 ハ 眼 何 研 キ V シ = 資質 富 放 者 ッ 方 吾 究 問 範ヲ次期 楽 或 λ 斃 帝 メ ガ = ۱۲ 題 國植 擊退 7 多 博 植 jν デ 即 ν シ 宜 テ 7 ク Æ 物 物 チ 置 後 テ 何 我 ŀ ス ナ シ 壆 生 物 2 テ居 具 决 チ 學 べ ۴° ク 邦 代 手 發 眼 キ 止 垂 シ ゝ 植 y テ 今 基 決 デ デ 展 = w

叉今日 英 ガ ラ今 ァ jν 植 Ė 郭 1遺憾 物學 他 植 人 物學 3 1 點 ý 祉 ۸ 會 , 社 多 ŀ 倍 密 會 1 能 接 ١ , 餘リ ŋ ハ 吾 一之ヲ知ッテ居ル 關 此 交涉 딨 係 ァ 甚 ラ天産 ガ ダ = ·]· ィ ŀ ୬ 姿 ク ハ 譯 殘 一タビ沈思 ŀ ji 念ニ思フ所 ナ ッテ居 思 メ我邦 フ ルガ 憅 考 デ 是 ア ス w 植 ۴ر 植 物 直 物學 グ 壆 孙 大 w 罪 デ デ 勃 ハ 興 ナ 1 ナ 力 ク (之ヲ專 植物學 菛 ラ行 備 w テ 居 Þ

叉我邦固

|有若

缺

乏シ

w

力

10

證

據立

レテ居

iv

デ

ナ

ż

力

w

即

チ

梅

デ ク

桃 在 テ居

デ 來

屯

維

新

來

ŀ

シ

テ

女調

查

ガ出

來テ

居

w v

Æ 智識

1 y

ガ

ナ 直

オ サ

又農

業植

物 者

デ

Æ

其通

ゔ゙゙゙

山茶デモ学園藝植物

7

根本調 テラ

查

۱ر

少

* */

壬 ۱۷

出來テ居

ナ

1

是

取

E

ズ園藝學

怠慢デ

ァ

w 充

5 者 多 力 テ 我 工 ラ 此 イ モ ズ之レ b 樣 早 點 75 1 植 Ì ハ 速 洋 物 今日 ヲ 對 ラ人 學 夕 = ガ 理 打撃ヲ . 5* ガ普 モ v 櫻桃 流行 僥倖 想通 テ = 及 餘 及 受ケ ij ŀ = y _N 也 無學 出 だ 云フ名ニ定 ヌ ヌ 新花 1 其進 來 然シ之ヲ救 b デ iv 例 ノヲ待 r あ花ヲ見テ ヲ學 ヲ造リ世 步 ラ阻 w 其 L ゲ ルナ ッ v , 碍 ラ ・テ居 故萬事 見 = **シ** ۸ر ド誤謬ヲ通 出 ラ 何 屯 Ħ 居 分 iv ス デ ゥ , 1 w 西 Æ iv 即 此等 デ我邦 洋 デ ナ = チ ハナ ィ ŀ 此 人 ij ノ新花 ガ = タ 植 1 越 7 多イ例 物學 10 園藝者 菊花 籌ヲ輸 シテ滑諬 又園藝植物 ۱۷ 皆學 普通 ノ如 ~ ~ ガ ス 問 * 今 園 = w セ 藝植 近 ヺ , 少シ æ 又 名稱 西洋 イ即チ 基礎 事 デ ァ 植 物 ガ w 物學 デ新 園 デ ŀ デ 此 Æ へ 澤山 シ 西 荻 亂暴 議 ラ研 洋 花 ラ造 智 = 方 馳 ラ新 園 シ 究 證 面 7 Æ シ 塾 ヲ w = 参せ テ 得 花 1 者 影 コ ガ ŀ 拵 ガ 我邦 頗 出 植 シ ۱۷ ₹/ 一來テ 面 w 物 園 w Ħ 多 Þ 1 學 1 人 今 = ク 居 デ 1 ゝ 植 殊 日 jν 素 今 如 日 物 又新 養 Ė 何 = 本 西 園 = , 方 ガ 植 洋 園 花 ァ 藝 處 物 jν ŀ 斷

此

如 フ

有

樣

ュ

ヱ

吾人

我帝國

植物學 亦其

爲

× w デ

=

廉ノ覺悟決心ヲ要スルー

思 杳

テ 必要

居

=

ŀ

デ

ァ N

jν

ガ

此

等

Ŧ

必 來

耍

ナ , 杳

場處

植物學

ガ普及

シ

テ居ラ

ヌ

證據

ッ ハ

デ

ァ

w

調 分

モ w

感

ゼ

ネ

又調 居

査 1

Æ

能

7

出

ヌ

アル

此調 タ

査

ノ出來テ居ナ

1

=

ŀ

平常

私 面

特 缺

= ケ

1

爲

遺憾

根本調

杳

出 モ ハ

來

テ

ナ

是

v

畢竟其調

基礎

įν

ベキ

分類植物學

ガ其

方

=

テ居 我國

w

力

ラ自然 ij

〇小學讀本ノくがいさう

富 太 郎

牧

野

學讀本ノくがいさう